



大崎町で広がる日本語の輪！ 互いの文化を学び、深まる絆

大崎町では令和6年度に外国人住民の日本語能力の向上と多文化共生社会に対する意識の醸成を目的として、延べ17回の日本語教室を開催しました。

教室には、ベトナム、インドネシア、ミャンマーなど、様々な国籍を持つ人々が集い、日本語学習の場というだけでなく、参加者同士でコミュニケーションを取り合い、生活に必要な知識や情報交換の場となるとともに、日本人サポーターとの交流を通じて、互いの文化や習慣への理解を深める場ともなりました。



3月16日には、令和6年度最後となる教室がおこなわれ、これまでの学びを振り返り、それぞれの今後の目標について語り合う、温かい時間となり、参加者からは「もっと日本の人と話したい」「この教室に参加して本当によかった」といった声が聞かれました。

日本語教室は、大崎町に住む外国人にとって、言葉の壁を乗り越え、地域社会との繋がりを深めるための一歩となっています。

多文化共生サポーターを募集しています！
興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課
共生協働係 (221)
「きっかけは、声かけから！」

ふるさと納税を活用した事業の紹介 vol.10

このコーナーでは、全国の方々からいただいたふるさと納税（ふるさと応援基金）を活用した事業について連載で紹介していきます。

環境配慮型定住住宅取得補助金

- 環境配慮型定住住宅取得補助金は、町内に定住するために住宅を新築または購入した方に対し、取得経費の一部を補助する制度です。この補助金は、5年以上の定住意思を持つ方が対象であり、地域コミュニティへの参加を促進し、持続可能な社会の実現に寄与しています。



令和5年度ふるさと応援基金を活用した金額 6,900万円

